



5月の子どもの様子

さくら組

8日の東仏教会の花まつり、23日の合同保育と他園の5歳児さんと触れ合う機会がありました。「6歳になった?」「何小学校へ行くん?」と勇気を出して聞いたりしました。

神崎まいまい探検隊へ出かけたときの海岸での鬼との綱引きは「がんばれ!」とたくさん応援をしてもらい、大号泣しながら勝つことができました。「そのごほうびかな?」「ラッキー」と電車の運転席の横で、長く伸びる線路を独占!かぶりつきで見ながら帰路につきました。2万歩ほど歩いた探検でした。

部屋の横のテラスでトマトとゴーヤを育て始めました。亀のガメちゃんのご飯の食べ方が「かわいい」20匹のあおむしが「かわいい」と1日中ケースを眺めている子ども達です。自然物への興味が深い子ども達です。

きく組

5月もたくさん園庭に出て元気いっぱい体を動かしてあそぶことができました。さら砂作りから始まり、さくら組さんが作るピカピカの泥団子に憧れ、試行錯誤しながら泥団子作りを楽しんでいます。最初は水が多すぎたり少なすぎたりでなかなか形にならず、「できん〜」「先生作って〜」の声がよく聞かれましたが、今では真ん丸の泥団子を得意気に見せてくれるようになりました。泥団子を光らせるためには、さら砂作りが重要なポイントです。子どもたちはお皿を巧みに使い、さら砂をどんどん作りだしています。ピカピカの泥団子が作れるのか今後、楽しみです。

園外の散歩では、自分たちで安全に注意して歩こうとする姿も増えてきています。気候の良い時は今後も交通安全に気をつけながら散歩を楽しみたいと思います。

うめ組

天気の良い日にはお散歩多く出かけました。お友だちやさくら組さんに手を繋いでもらい目的地までしっかり歩いています。

海岸へ散歩に行ったときのブームは魚釣り。木の枝を持ってきては海に腕を伸ばして魚釣りごっこ。枝が水についていないことに気が付くと、長い枝を探してきて再チャレンジ!それでも魚がこないとお友だちに「魚おらん」「ご飯は?」と葉っぱをちぎってあげてみたり、会話を楽しんでいました。魚を釣るために興味津々で試行錯誤する子ども達です。今後どんな魚が釣れるのか楽しみです!安全を確認しながら子どもたちの行動を見守っています。





もも組

季節の虫や植物にたくさん触れた5月でした。だんご虫に興味を持つ子ども達。触れることも嫌がる友達もいましたが、虫かごで観察しているうちに「おきてー」（だんご虫が丸くなると…）「赤ちゃん」（小さいだんご虫を見て）愛着が芽生え、触れる姿が見られました。

シロツメクサを見つけ、息をフーフー。「とばんなぁ」保育者が綿毛を渡すと「とんだー」と大喜びでした。子どもたちの興味や気付きに保育者が関わり、やり取りやあそびを広げていきたいです。

トイレで排泄できる友だちも少しずつ増えてきました。自分でやってみようとする姿を見守っています。

ふじ組

気候も良かったのでたくさんお散歩に行きました。赤レンガの広場では、木の葉っぱを見つけ拾ったり、タンポポの綿毛をふう〜っと吹いたり、たくさん自然に触れてあそび、帰りは散歩車が気持ち良くてウトウトしてしまうこともよくありました。

色々な景色を見て指差しや声を出して見つけた物を知らせてくれ、子ども達の発見を保育者も一緒に楽しんでいます。

まる組

園生活にも慣れ笑顔いっぱいのもも組のお友だち！ふじ組と一緒にお仏参を毎日しています。小さなおててを合わせ、保育士の真似をしてくれる姿に喜びを感じます。部屋の中では活発に動き回ったり、好みのおもちゃを触ったりしています。

お散歩にもたくさん出かけました。色々な物に興味津々で指差しや発語がたくさんあります。

